

総務文教常任委員会



●各総合支所の照明 LED 化

【総合支所】

問：進捗状況と電気代の削減効果は？

答：大島庁舎は令和8年度で実施設計、9年度で改修工事を予定。削減効果は検討してない。久賀庁舎は今年度改修工事を行い、年間約70万円の削減を見込む。東和庁舎、橋庁舎はすでにLED化されています。

●小中学校への防犯カメラ設置

【教育委員会 総務課】

問：職員室で現在の映像を確認できればと思うが、どこに設置しますか？

答：基本的に正門、裏門、児童玄関に計3台設置予定で、学校の構造に応じて設計業者と協議します。映像は、職員室で確認できます。

●不登校児童・生徒への支援として新たに設置する校内教育支援センターについて

【学校教育課】

問：対象者は？あろは教室の指導員が出向くのか？

答：大島中学校に設置し、対象者は当校の生徒に限ります。専属の指導員を採用し対応します。

●スポーツイベントや社会教育団体の事務局を外郭団体に移行

(地域活性化起業人活用事業)

【社会教育課】

問：地域活性化起業人制度をどう活用し実現するのか？

答：国の事業を活用し、民間企業から人材を派遣してもらい、3年かけて設立を目指します。

●自治会等の固定資産税

【税務課】

問：減免対象となる基準は？

答：公益性があるか、営利目的がないか、地方税法や条例に基づき現況の使い方が公共性に徹しているかというところで判断しています。

●岩国基地騒音対策のエアコン・二重窓設置の補助対象

(住宅環境改善支援事業補助金)

【総務課】

問：借家はなぜ対象にならないのか？

答：事業主体の県に確認すると、借家はいつ他の人に代わるかわからないため対象外とのことでした。

●町長とのワンテーマディスカッション

【政策企画課】

問：町側からも開催を呼びかけたら？

答：出張所廃止のような大きな動きがある際に、町側からも企画し参加を求める形が可能か模索したい。

●結婚新生活支援事業補助金

【空家定住対策課】

問：本町での若者の定義は45歳までとの説明が以前あったが、対象年齢の上限が39歳となっている理由は？

答：交付金を活用した事業なので、国の基準に合わせ設定しています。今後、町単独事業として年齢の幅を広げること検討していきます。

民生常任委員会



●新生児へのおむつとおもちゃの

現物支給(子育てはじめのいっぽ支援事業)

【福祉課】

問：現物より現金の方が利用しやすいのでは？

答：現金給付も検討しましたが、支給品を手渡すことで毎月、保護者や子どもと面談する機会がもてるため現物給付としました。

●人間ドック補助事業

【国民健康保険事業 特別会計】

問：受診定員、予算額増となっている理由は？

答：令和7年度は早期に定員50名に達したため、20名増員し予算を増額しました。

●健康増進計画における高血圧対策

【健康増進課】

問：どのような機関、団体と連携しているのか？また、その連携内容は？

答：健康増進計画推進委員である農協や漁協等と連携し、団体職員の血圧測定や健康相談を実施した。令和8年度は、小規模事業所にも働きかけ、健康相談等の実施を検討しています。

●東和・大島病院の病床利用率の現状と取り組みは？

【病院事業局】

問：病床利用率について、東和86.4%、大島80%を見込んでいるが現状は？また、下回る場合の取り組みは？

答：東和病院は83.3%と目標数値に近い数値になっているが、今後も包括期・慢性期を中心に受入患者を増やしたい。一方で、大島病院は67.7%と目標数値を大きく下回っているが、本町の救急医療の最後の砦となっており、病床の回転が良く利用率の変動幅が大きくなっている。今後は町外の総合病院等からの下り搬送での受け入れを強化し、入院患者の増加を目指します。

●周防大島版 CCRC 推進事業の

今後は？

【介護保険課】

答：当初の「元気な高齢者の呼び込み」から「定住対策」へと主軸を移している。今後も空家定住対策課と連携し、介護事業の充実をPRすることで、現役世代が将来的に親を呼び寄せたり、親を連れて移住できる安心感を提供することを目指します。

●医師住宅の売却方法は？

【病院事業局】

問：未利用の医師住宅の売却はどのように進め、決めて行くのか？

答：売却方法については未定ですが、空家定住対策課と連携を取りながら進めます。

●町からの基準外繰入の返済は実現可能なのか？

【病院事業局】

問：令和9年度以降に返済を見込む計画になっているが、実現可能なのか？

答：基準内繰入の中で経営改善を考えており、月々の執行管理を徹底し、計画水準に満たない部分については目標数値達成のため、素早く対応していきます。